

成果と課題 (概要)

今回の調査から、学習については、児童・生徒の学習意欲の向上が見られるとともに、教員の授業における工夫改善の成果が表れております。しかし、児童・生徒にとって「わかる授業」や「確かな学力」の確立にはまだ達しておらず、今後、更なる授業の工夫改善と教育施策の充実に取り組んでまいります。また生活については、藤井寺市教育委員会が取り組む「さわやかあいさつ運動」により、地域の方々にもしっかりとあいさつができるなどの成果があります。さらに将来の夢や目標を持ち続けて日々の生活が送れるように、日ごろから自己肯定感、自尊感情を高める教育の推進を図ってまいります。本調査の成果と課題の概要については、以下に示しております。

(1) 学力について

成 果

藤井寺市の児童・生徒には、主に以下のような成果があげられます。

- 学習した基礎的・基本的な知識や技能を身につけていること
- どんな問題でもあきらめずに取り組んでいること
- わかりやすく書くように気をつけていること
- 内容を理解しながら読むように気をつけていること
- 数学科・英語科での学習意欲が特に伸びていること

課 題

藤井寺市の児童・生徒には、主に以下のような課題があげられます。

- 学習した知識や技能を活用すること（活用力）
- うまく伝わるように、話の組み立てを工夫すること
- 表やグラフから特徴や傾向を読み取り、それらを活用すること
- 図形の特徴や、割合で表している数量関係を理解し、さらにそれらを活用して答えや解決方法を見通すこと
- 文や図、グラフなどさまざまな形態で表現された問題から、目的に応じて必要な情報を読み取ること
- 自分の考えを、相手にわかるようにまとめ、説明すること

(2) 生活について

成 果

藤井寺市の児童・生徒には、主に以下のような成果があげられます。

- 朝食をきっちり食べて登校していること
- 地域・学校であいさつできること
- 本に興味を持っていること
- 家庭での学習時間が増えてきたこと
- 将来の夢や目標を持っていること
- 自分のよいところと言えること

課 題

本調査の生活アンケート結果から本市の児童・生徒の学習状況の改善は図られていると考えられます。一方で「成果」で挙げた項目の中には、昨年度より若干低下している項目もあり、「朝食喫食率」が1～2%低下、「あいさつできる」が1%低下、「7時までに起きる」が1～3%低下しています。これらのことから、改善できていない児童・生徒への支援が今後の課題と考えております。

藤井寺のすべての子どもたちの学習状況を改善していけるよう、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たすとともに互いに連携し、いっしょに取り組んでまいりましょう。

(3) 学びの向上

成果と課題から、各学校で「生きる力」をさらに育むため、子どもたちが意欲的に学習し、学びの実感が持てるような授業となるよう、教員が多様な学習の場や指導法を研究し、日々の授業に取り入れながら、さらに改善を図っていくことが重要であります。

特に「本やインターネット等で、じっくり調べる時間」「話し合いで、考えを広げ深める活動」「自分の考えを発表する機会」「自分の考えをまとめる時間」等を授業の中で多く取り入れていく必要があります。そのために教育委員会は、各学校での特色に応じた授業研究支援、授業作りの研修、個に応じた習熟度別指導の工夫等、推進させてまいります。また豊かな学びの環境作りのため学校図書館や放課後学習の充実にも取り組んでまいります。

